森のある小学校

令和8年度江東区立亀高小学校　グランドデザイン

校長　吉田 松寿

亀高小
イメージキャラクター
かめたま

かがやく笑顔で、めあてをもって学び、たすけあいみとめあう、かつりょく（活力）のある子　それが「かめたかの子」

教育目標
○明るく　生き生きとした子　「あかるく」
○自分から考え　やりぬく子　「かしこく」
○元気で　丈夫な子　「つよく」
○思いやりのある　やさしい子　「あたたかく」

目指す児童像
○夢や希望をもち、心身ともに健康で、心豊かにたくましく生きる児童
○自ら進んで学び、考え行動する児童
○自分も相手も大切にし、他者と共によりよく生きようとする児童

基本理念

学ぶ楽しさ　ともに生きる喜びがあふれる学校
～「こども ど真ん中」こどもの笑顔で学校・地域が輝くように～

①自ら考えることや、友達と学び合うことを大切にする学校づくり
②児童が安心して通える楽しい学校づくり
③保護者・地域と連携・協力する学校づくり

目指す学校像
○児童も教職員も学ぶ楽しさを味わい、共に生きる喜びを感じられる学校
○児童も教職員も夢や目標に向けて生き生きと活動できる学校
○児童も教職員も生命の尊さを深く理解し、安心して安全に生活できる学校
○児童・保護者・地域・教職員がともにかがやく学校

目指す教師像
○児童のよさを発見する眼、受け止める心、語り合う言葉を大切にする教師
○切磋琢磨し、互いの専門性、指導力を磨き合い、協働する教師
○教職員に同僚性が築かれ、一丸となってこどもたちのために努力を惜しまず、仕事に誇りをもっている教師

確かな学力の向上

◆調査結果を活用し授業改善プランに基づいた指導、個に応じた指導の充実を図ります。
◆「東京ベーシックドリル」に取り組ませ、診断テストを年間3回行い、基礎的基本的な知識及び技能の習得を図ります。
◆体験活動、問題解決的な学習、探究的な学習、教科横断的な学習等を推進し、児童の思考力・判断力・表現力を高めます。
◆「こうとう学びスタンダード」を基軸に、主体的・対的で深い学びの視点に立った授業改善を図ります。
◆「学び方スタンダード」により、児童に学びの構えを身に付けさせ、「家庭学習スタンダード」の周知により、家庭学習の習慣化を図ります。
◆学校や家庭においてICT機器を効果的に活用することにより、児童の情報活用能力を高めます。
◆国語科を中心とした校内研究により、組織的な授業改善を図り、**“表現力”**を高めます。

感性豊かであたたかい心の育成

◆人権教育全体計画に基づいた全教育活動を通して、自分や他者の人権を守るための態度や行動を育成します。
◆道徳教育を重視した全教育活動を通して、生命を大切にする心、他者を思いやる心、共に学ぶ心を培います。
◆わんぱくの森を活用した学習や全校児童による**俳**句、百人一首、6年生による金管鼓笛隊を通して、豊かな心を育みます。
◆たてわり班活動を生かして豊かな人間性や自他を尊重する心を育み、協力する態度やリーダー性を身に付けられるようにします。
◆特別の教科道徳等において、情報モラルに関する授業を年間2回以上実施し、児童が情報モラルを身に付けられるようにします。

健やかで強いからだの育成

◆「持久走旬間」や「長縄跳び旬間」の取組で日常の健康・体力づくりの活動を充実させます。
◆保護者と連携して毎月の「セレクトメディアチャレンジ」を実施します。
◆**第4学年で**パラリンピック種目「ボッチャ」に親しむ機会を設定します。

特別支援教育の推進

◆特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会を活用し、保護者や関係諸機関との連携を図り、一人一人の教育的ニーズに応じた支援や合理的配慮を行います。
◆計画的に特別支援教育研修会を開催し、教職員や保護者の特別支援教育への理解・啓発を図ります。また、特別支援教室の教員による各学級への授業等を通して、児童の特別支援教育への理解・啓発を図ります。

【今年度の最重点課題】 学力の向上

◆基礎的・基本的な知識及び技能の習得
◆思考力・判断力・表現力の向上
◆主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善
◆学習規律の確立と学習習慣の定着化
◆情報活用能力の向上と「亀高小スタイル」の確立
◆校内研究による組織的な授業改善

＜豊かな言語感覚の育成～言語活動の経験と言語環境の整備の充実～＞

一人一人を大切にする教育と支援

◆一人一人のよさを認める学校づくりを進めます。また、児童の自己肯定感を高めるために、成就感や達成感を味わったり他者から認められたりする取組を推奨します。
◆いじめ見逃しゼロを目指し、「丁寧な観察」「アンケート調査」「児童が主体となって行う活動」「標語づくり」「いじめに関する授業」を実施します。定期的にいじめ防止対策委員会を開催して、組織的に対応します。問題が起きた際には保護者に伝え、連携して解決を図ります。
◆不登校傾向の児童の家庭と連携して解決を図ります。家庭訪問や個人面談を丁寧に行い、教育相談機関等と連携を図り、児童が安心して登校できるようにします。

防災・防犯・安全指導の徹底

◆児童の生活安全、交通安全、災害安全について指導し、ルールを守ることや児童自身が考えることを重視します。
◆保護者や地域の方々とも連携し、児童が生涯にわたって自身の安全を守るとともに、他者や社会の安全についても考えられるようにします。
◆緊急のお知らせや近隣での事件・事故の情報を得た場合は、緊急メール、ホームページ等を利用して、迅速に情報発信をします。

地域・保護者との連携

◆地域学校協働本部を組織し、地域協力者による授業参加や支援を強化します。体験的活動を取り入れて学校行事の充実を図ります。
◆学校行事や保護者会、学校公開、学校だより、ホームページ、掲示板等で本校の教育方針や成果、具体的な教育活動の様子を積極的に公開します。
◆学校評価を通して学校、家庭、地域の連携を図り、学校経営に活かします。

本校の特色
「わんぱくの森」を活用した取組

・「みどりの授業」（1～4年　年間4回）
・「たんぽぽの学校」（5年）
・畑での野菜づくり、カブトムシ御殿の昆虫年間飼育（2年）
・ヤゴレスキュー（3年　5月）
・理科・生活科での動物・植物観察、図工・生活科の材料収集、俳句教室での句材探し、クリーン大作戦　　など

主な全校での取り組み

・「朝読書」　・「読書旬間」
・「俳句」　・「百人一首大会」
・「持久走記録会」